

今連盟だより

第2号

昭和57年11月1日

発行 静岡県家庭婦人バレーボール連盟事務局 〒426 藤枝市大手1-28-4 電(0546)41-5381

企画運営の仕事

思つこと願うこと

バレーボール教室に
参加を!!

企画運営部長

鈴木文子

審判部長

曾根田佳子

指導普及部長

内藤美波子

大会があるたびに組合せ、大会当日のコート設営、試合の進行状況、ケガの人が出ないように、競技上の注意で説明不足はないか、特に組合せにはとても気をつかいます。

この頃やっと企画運営部としての役目、各大会ごとの運営等、県協会の御指導をおおぎながら、連盟役員と、参加チームの方々のご協力によってなんとか無事に運営できるようになりました。

六月六日に部の行事として、企画運営法（組合せ方法、競技委員の任務、担当理事の役割）の講習会を行ないました。受講された方々はそれぞれに地域へ帰られてリーダーになっている方達ですので、大いに活用してほしいと思ひます。私自身もこれから己にきびしくより多く勉強して行きたいと思ひます。

連盟も結成されて来年は十年目です。よりよい連盟になりますよう切望しております。



世の中で「見ると聞くとは大違い」といわれていることは沢山ありますが、審判もそうだと思います。

審判台からあざやかな手さばきでプレーを判定、ホイッスル一つがすべてを決めるのですから、はた目では格好よく見えても、当事者はそれどころではなく、咄嗟の判断、瞬時の判定、間違ってはならない、との緊張感で、それこそ寿命が縮む思いです。おまけに、試合が終っても反省ばかり、いつまでも心に重くのしかかっているものです。

こんな苦労の審判をやっていても、さてプレイヤーに立場を変えると、時には審判に注文をつけたくなることもありますから、むずかしいものです。

連盟審判員は「良い審判は、良いプレーを引き出す」ことを確信して、少しでもレベルアップに心掛け、選手共々納得のゆく試合が数えられるよう、努力しています。

ブレーヤーの方々、やさしく応援のみます。そして皆さんも、どしどし審判台に立つようにし、双方からバレーボールの醍醐味を味わうようにしていただきたいと思います。



バレーボールの普及により各地域にチーム数が増加した今、指導者の不足が痛切に感じられます。

「バレーボールを好きな者がバレーボールを好きな仲間と楽しくプレーする。ベテランは初心者をいたわりながらリードし、初心者はベテランを信頼して学び、共に苦楽ならぬ喜楽を分ち合う。そして欲をいえばその結果が勝ちにつながる。」

こんなチーム作りが家庭婦人にふさわしい事は誰もが百も承知の筈なのに、とかく上手な人を中心の練習になりがちです。

そこで指導普及部と致しましては初心者の育成と共に、指導者の養成を目的としたバレーボール教室を計画しております。初心者もベテランもそれなりに得るもののは大きいとの声を毎回戴いております。皆様にこの機会を大いに利用して素晴らしいチーム作りにお役立て戴けましたら本望でございます。

—第13回全国家庭婦人バレー ボール大会—

見事!! C組優勝 きたごうクラブ



★出場選手 よろこびの声

となりました。一点を取ることのむずかしさを痛感しました。

田代 桂子

。地域の人々との交流をと参加したクラブが全国大会へ、そこで学生時代の先輩とも会え自分の世界が広がった喜びを感じます。

中安美恵子

。とにかくバレー ボールが好きだからと言う訳で始めた経験○○一の私、全国大会優勝なんてまだ夢のよう。

原田ウラ子

。第三セット、古川クラブと対戦21対16「ついにやった」お父さん、子供達、チームも応援団も一体になつたあの一瞬は忘れない。

牧野 洋子

。私達のチームよりも実力のあるチームがたくさんある中で優勝出来た事、これもチームワークの良さで得た勝利だと思います。

及川きく代

。とてもすばらしい思い出

。私は、すばらしい仲間達に出会い、尊い経験をしました。全国優勝、その陰にはいろんな努力の積み重ね、そして何より嬉しいのは家族の協力でした。

杉山 友子

。目標といえば自分の技術の向上だけしかなかつた。サーブが入らない、バスが届かない初歩的な事で悩んでいる自分が歯痒く恥ずかしかつた。でもこの時の試合でスパイクを力

。第三セット、古川クラブと対戦21対16「ついにやった」お父さん、子供達、チームも応援団も一体になつたあの一瞬は忘れない。私達のチームよりも実力のあるチームがたくさんある中で優勝出来た事、これもチームワークの良さで得た勝利だと思います。

。生涯最良の思い出となつた。初心者の私、家族の協力のもと、チームの輪の中に入れていただき、考える事は“バレー”念願かない優勝の感激場面永遠に心の片隅にしまつておきたい。

勝亦 節子

。練習の段階で行き詰まって悩む私を励まし出発の朝、私より早く起きてトウモロコシを煮、御飯を焚いて、おにぎりを持たせてくれた義母、優勝という良い成績で帰った私の首

から下がたメダルを見て涙を流して喜んでくれた病気の義父。良い家族、チームメイトに恵まれ感謝の気持で一杯です。この感激と良い経験を、これから的生活に練習に活かして行きたいと思います。

岩田 春恵

。何もバレーを知らないのに、出場させてもらえて嬉しかつたです。これからも、球拾いをしっかりやりたいと思います。

鈴木 美恵子

。地区予選から全国大会まで、一戦一戦がチーム作りの手段と考え「無欲の勝利」と呼ばれた。又、全国大会での第一戦鳥取戦での勝利は、私のバレー人生で最大の感激でした。

。心から応援して下さった役員の皆様、地域の人々、知人、家族に感謝し、これからは社会的にも意義のある生涯スポーツとするよう、努力したいと思います。

浜頭 直子

。入場行進をしている時、自然に涙がでてきましたほどの感激でした。主人や二人の子供に優勝の素晴らしい嬉しい一瞬を見てもらえて幸せでした。ここまでくるのに辛かったこともありましたがこの思い出、経験を終生忘れることなく今後も練習に試合に頑張って行きました

井田 松江

第十三回 全国大会県予選に初参加チームの感想

松 風
(沼津市)

で何回か話し合いました。

全国大会地区予選初参加です。一勝を合言葉に大会に臨みました。何時もベンチに居る監督(男子)も今日は観覧席です。兎に角一試合目と言う雰囲気の中で試合が始まりました。

どうした事カリズムに乗れない感じです。
『皆んな肩の力を抜いて』ベンチから声をかける変りに笑顔で見守る、選手全員でプレーする事にしております。メンバーチェンジをして二セットが開始、どうやら何時もの力が出て来た、もう一息だ『頑張って、粘って』皆んな精一杯プレーしたと思ひます。

一勝の目的は果せませんでしたが、この大会に参加して他のチームの手に汗握るプレーに学び得たものも多く技術、精神面とも強化して、来年に期待します。栄光の道は険しいものだと思いますが、五月の風のようにチーム全員がとても明るく有意義な一日でした。

掛川桔梗
(掛川市)

実施要項が届いたとき、参加について部員

こうして不安ながらも「頑張ってみよう、県大会をめざしてやってみようよ」ということになり参加を決定しました。

第一戦、曳馬チームと対戦、見事に完敗。チームの実力が發揮できず「こんなはずではなかつたのに」と思つてはいるうちにゲームセツト、本当に「くやしい」の一言でした。

相手、又、他のチームの試合をみていると、まとまり、ファイトあるプレーに全員が感動し私達も、もつともっと頑張らなくてはと気持ちが引きしまり大変勉強になりました。

この大会後、チームワーク、フォーメーションについて考えなおし、来年の大会を目指に部員一同練習にはげんでおります。

本宿クラブ

大角良子
(長泉町)

この大会に初めて参加させていただき、対戦相手も初出場ということで、チーム一同今度こそはと、念願の「一勝」を相言葉に新しいユニホームで試合にのぞんだのですが、一セットは得たものの、精神面のもろさから、リードされるとがたがたとくずれて、セット

を失い、何時ものパターンで敗れてしましました。

女性だけの編成チームということで、不安もありましたが、やればできるものだと、良い経験をさせていただきました。

屋外で昼食をとりながら反省会を行い、参加することに意義があると共に、勝を目指して明日からの練習に一層励みを入れて頑張ろうと、みんなで話しあいました。

川 柳



ブレンド
近藤 雅代

蛙なく夜道に友の汗匂い

森下球友

藤下 洋子

しおれ花コートの中で花ひらく

神久呂 本田 好子

ファインプレー日頃の母の見せ場なり

入江同好会

斎藤 靖代

ストレート決めてくれよとトス上げる

磐田北

福沢富美子

転げても返すボールが得点打

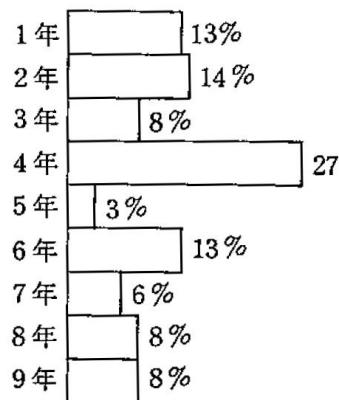
羽衣愛好会

渡辺恵美子

ママプレー十年選手気が揃い

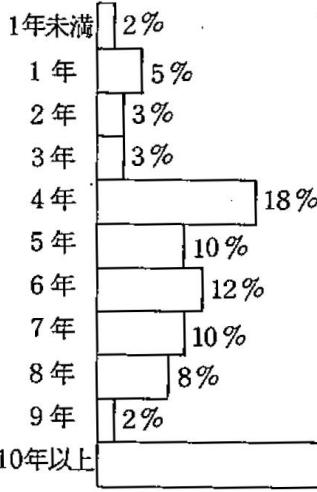
結果報告

配布枚数
回収枚数
回収率



ある。

9枚
3枚
68%



10年以上の16チームの中、三島中央婦人15年、磐田北クラブ17年、メイト17年、河城クラブ22年があった。

質問1 チーム創立以来今年で□年である。
ト調査にご協力いただきました結果を報告いたします。

連盟登録チームの実態についてのアンケー

ト調査にご協力いただきました結果を報告いたします。

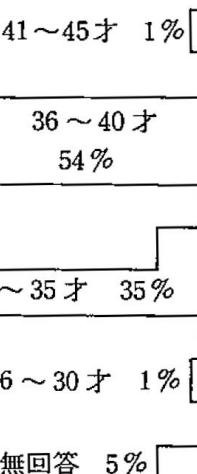
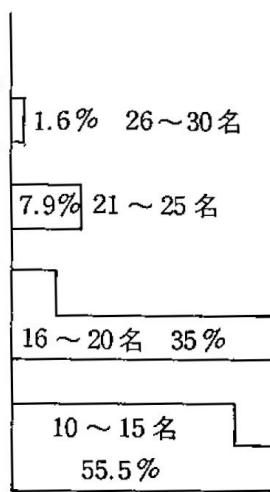
質問3 チーム構成員は□名で、最年長、最

年少、平均年令は。

五〇才以上の超ベテラン6名

最年長は入江同好会の六〇才である。

質問6 練習日は週□日、□時間位。
練習日が月2回だけが1チーム
量間練習が1チームありました。

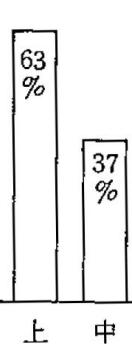


質問4 バレーボール歴

結婚前経験者

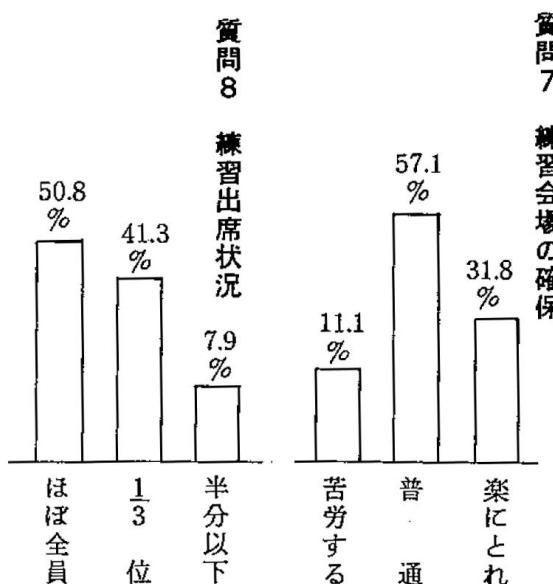
結婚後始めた

質問5 家族の理解度

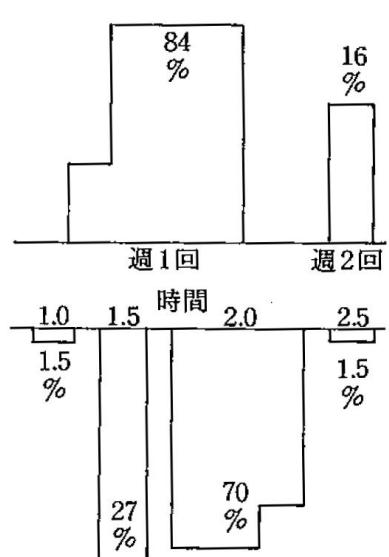


りませんでした。

アンケート調査のご協力ありがとうございました。
質問11・12・14について切実な問題があると思います。
代表者の悩みは自分達の問題として、常に工夫・努力・
協力によりチーム全員でよりよいチーム作りに励んでい
ただきたいと思います。

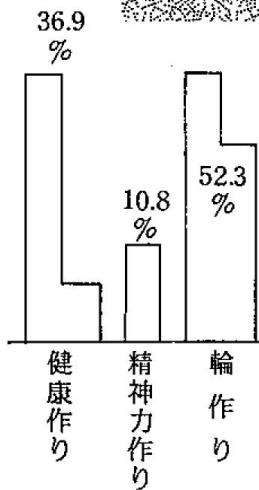
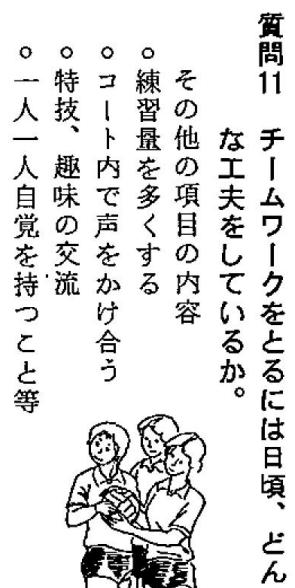


質問7 練習会場の確保



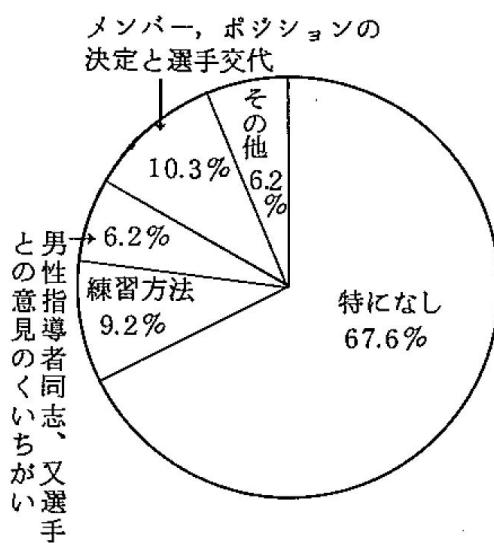
アンケート集計

登録チーム実態調査

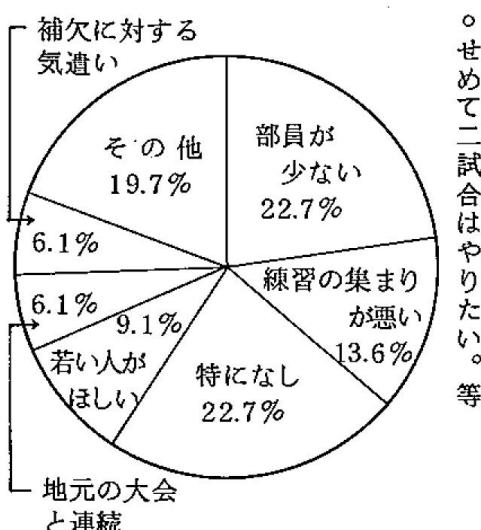
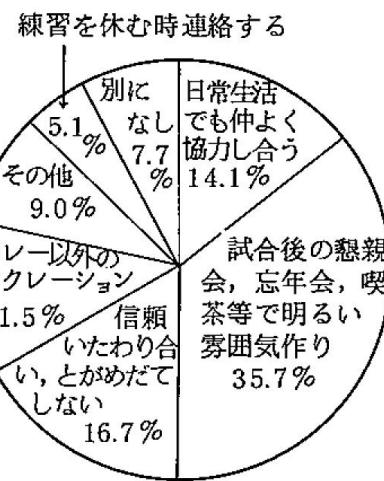


その他、の内容には妊娠、地区バレーと重なる、主婦特有の急用、来客等があった。

質問10 あなたのチームは三つのうちどのことに力を入れていますか。



- 質問12 指導者とのトラブルがあるとしたら、他の項目の内容
- 強いチーム作りにこだわる。
 - 指導者として適性を欠く。
 - 選手と補欠を区別する。
 - 練習開始に全員揃わない。
 - 経験の浅い人は指導者の言う事を理解できない。



- 質問14 代表者としてチームの運営上の悩み
- 指導者と選手との板ばさみ
 - メンバーガベテランになり、チームワークはよいが技術の向上がない。
 - 若い人が入ってベテランが押し出されるので四〇才以上のコーナーも
 - 年代別の考え方の違い
 - 勝手な考え、行動で輪作りにとび込めない人の扱い
 - 精神力の不足
 - 経費がかかる
 - せめて二試合はやりたい。等

『バレー・ボール教室』(指導者講習会) S57.1.17 於 焼津東小学校 63名参加

△受講生感想△

御前崎クラブ 柏原 敦子

私達のクラブでは監督、コーチともいらないという事で、常に頭をなやませていました。

講習会とのことで、私達のクラブも二名参加いたしました。指導者ということもあって先輩の方から若い方、大勢の参加で心強く思いました。

お話の中で、家庭婦人いうこと、バレー・ボールをすきな人、又、新しく入って来た人達をどのように指導したら良いか、実技を見ながらの指導でとても勉強になりました。

チームに帰って教えを一つでも見習って少しでも良いチームになるように頑張りたいと思いました。そして準備体操もとても良く、楽しく、勉強になりました。

浜松スポーツクラブA 山本ふさ子

私は、革バレーを習い始めて一

年足らずの初心者です。見るもの聞くもの全てが目新しく、緊張と不安が一ぱいで講習会に出席させていただきました。バレーの為の基本を一つでも見逃すまい、少しでもより多く体験し自分の身につけよう、そしてチームに持ち帰ろうとする受講生の積極的な態度には圧倒させられました。自分の甘い気持が一瞬恥ずかしくなりました。

講師の方々の指導に夢中でボールに向かって行くのですがなかなか思うようにプレー出来ません。でもよし今度こそやるぞと挑戦して行く気持は大きな進歩でした。

やればやるほどむずかしく奥の深さを感じるバレーですが、このような意義ある講習会を受け講師の方々の熱意ある指導を受け肩で感じられた事は、これからバレーを学んで行くうえでどんなに励みになったかしれません。バレーを通して仲間を増し、人間的に成長していくきたいと思います。

スマイルクラブ 飯田 昌代

皆さんのがぶれを拝見した時「発足して四ヶ月足らずでこんな所に来たのは少し場違いだったかな」と、一寸氣おくれてしましました。でも折角こんな良い機会にめぐり合えたんだから一つでも学んで行こうと思い、記録に挑戦しました。

これで試合の時でも進んで記録だけはやつてあげられそうです。これも、皆さんに親切に手ほどきしていただきたおかげです。

今度の試合から楽しみが一つふえたような気がします。これからも初心者向きの講習会を開いてくれたらと思いました。



審判講習会

S57.6.6 於 藤枝労働者体育館 85名参加

★審判講習会に参加して

飯田クラブ

講習会に参加させて頂く機会を得ました事をとても嬉しく思っています。講師の朝比奈

さんのルールについて実例を用いた説明は大変にわかりやすく勉強になりました。笛の吹き方、ハンドシグナルの示し方等、審判の判定の重大さを深めると同時に責任の重大さも感じました。

副審、線審、記録の個々の役目を果たして審判が出来る事等、全て未熟者の私には勉強になりました。この講習会で学んだ事を生かして一日も早く皆様の手助けが出来るようになります。

◆第6回さわやか杯大会盛大裡に終る◆

県大会 S57・9・5 於 草薙体育馆
予選参加チーム総数80チーム

初参加チーム感激の声

●さわやか杯に出場して

西益津ボニーズ

産声をあげて半年余り、「県の大会に出たい」という夢が実現し、中部予選、県大会と幸いにも、Cグループ優勝をする事ができました。県のレベルは高く、どの試合も苦戦の連続でした。発足して日も浅く、個人技はともかくとして、チームワークが今一歩という心配がありました

が、一戦一戦勝ち進んで行くうちに、チーム全員の気持が一つになりました。皆で力を合せれば出来るというこの体験を生かし、これからも練習にはげみ、「楽しいチーム作り」を目指に頑張っていきたいと思います。

●来年こそ一勝を

オール金岡 南雲 京子

県大会の切符をやっと手にしたのに、諸行事が重なり、ベストメンバーが組めずに出場しました。盛大な開会式に少々興奮ぎみ、それでも一試合は勝ちたいと思込んで試合に臨んだのですが、皆の動きが悪い。一セット目は、十八点まで追い上げたが最後までリズムに乗れず惨敗でした。来年も初勝利を目指に頑張ります。

●貴重な経験

中郷婦人バレークラブ

最後に、この大会を盛り上げて下さいました役員の方々の、はかりしれないご努力に深く感謝いたします。

●さわやか杯県大会初出場

スマイルクラブ

早朝六時二十九分発東海道線鷺津駅を出発。

こんなに早く出るのも、すきなバレーボールの為。体育馆に着くなり指先が緊張のあまり冷たく堅くなってきた感じがした。結成して

七ヶ月、県大会に出場出来、Cグループ三位となり、うれしかった。どの試合を見てもすばらしいプレーを持っているチームばかり。

練習不足を痛感した。もっともっと自分にきびしく、チームワークで頑張って行きたいと思います。

●見事なプレーに感激

有度クローバー

結成して半年、未熟ながら度胸だめしと、初参加で思う様な動きも出来ず苦戦しましたが、大変良い勉強になりました。

Aグループの決勝戦は、本当に見事で留息をついてしました。私たちのチームも、あの足元にたどりつけたら、夢を持って、これからも頑張ります。



川 柳

向敷地 A B C 子

夫ある身なのにコートでお見合し

手足より口が先出る超ベテラン

対戦の相手誰もが強くみえ

緑ヶ丘 山田 瞳

年忘れプレーの後にはあざだらけ

いつもお弁当を持たず、一回戦で敗れて早々の帰宅。今年は思いもかない県大会へ出場出来ました。一回戦で敗れましたが大変貴重な経験をさせて頂きました。来年もこの感激を再び味わいたいと思います。

本年度県大会成績結果

	1位	2位	3位
眞田杯	浜松西クラブ	島田クラブ	函南クラブ
全国大会県予選	きたごう	千代田クラブ	久沢クラブ
選手権大会	浜松西クラブ	シースカイ	長泉クラブ
			きたごう

第6回さわやか杯優勝大会

	1位	2位	3位
Aグループ	浜松西クラブ	シースカイ	函南クラブ
Bグループ	きたごうクラブ	千代田クラブ	静岡球友会
Cグループ	西益津ボニーズ	豊田町クラブ	スマイルクラブ
			下田球友会

多々羅芳子さん 年令六〇才
(入江同好会)

さわやか杯地区予選でチームは惜敗しましたが、大会参加最高年長者として、九月五日の県大会の時、特別賞として、記念ボールが授与されました。

私達も多々羅さんを目標に、生涯スポーツとして頑張って行きましょう。

人物紹介



短歌



編集後記



ママさんの競技志向もハイレベル二勝できればビールで乾杯 (竜洋 鈴木 優子) 応援の子らを背においてコートかけ笑顔がはずむ体力づくり (清水西 松浦美知子) 練習日汗を流して球をおうまナーもおぼえにこやかな顔 (新津 桑原 里子) 汗ながしはやる心で家路つくそっと見つめる寝いいるわがこ (曳馬 望月みづ子) 練習日夕方の片付忙しく主人の十久利の口をかく (五和 橋本 昌余) 白球の飛びかう間に見ゆ子守役思い出ししきり往年の華 (飛翔 宇田 陽子)

多くの方々のご協力で、第二号発行の運びとなりました。各チームより寄せて頂きました実態調査も、統計を取ってまとめてみました。よりよいチーム作りのために、いろいろ工夫しているようすがわかりました。その中で、私が感銘を受けたチームを紹介したいと思います。一つは、三島中央婦人クラブです。九年前に県代表として全国大会へ出場した伝統のあるチームですが、今年は、全国大会県予選へと、新しい人たちを育て上げ、当時の出場選手たちは、監督として、マネージャーとして、また、球拾い役として参加してくれました。ママさんバレーのお手本を見た思いです。もう一つは、今年、向敷地クラブCの誕生により、A B Cと同一母体より三チームが登録してくれました。しかも、監督、コーチすべて女性です。バレーが大好きで、指導者を尊敬して集まっている人たちで運営しているこのクラブの今後の成長を、楽しみに見て行きたいと思います。常に前向きにチームを育てて行くことは、十人十色の性格や、考え方の違い、技術の差などの集まりの中で簡単に行くはずがありません。お互いに、ちよつとした思いやりと、バレーが好きだからと集まった出会いを大切にしながら、自分を磨き、チームを育てながら、交流の広場としての機関紙『連盟だより』も育てて頂きたいと思います。

◆東海四県家庭婦人
バレーボール選手権大会
於 名古屋市プラザ一体育馆
S 57・10・17
県選手権大会 第一位 浜松西クラブ 県代表として
第二位 シースカイ 出場
△結果△ シースカイ 第三位 浜松西クラブ 一回戦で惜敗

中 西 満子